

み一つ大津・秋 事業報告書

1. 目的

第2期大津市中心市街地活性化基本計画に基づき、びわ湖や大津百町の地域資源を活かした事業を市民、民間事業者、行政の協働で実施している。その集大成として大津の魅力をさらに発信するため、まちあるきや体験を中心とした「み一つ大津・秋」を大津市中心市街地活性化協議会及び地域や商店街等関係団体と連携、協力して実施することにより、中心市街地のさらなる賑わいの創出に繋げることを目的とする。

2. 実施主体

大津市中心市街地活性化協議会

3. 開催期間

平成29年9月16日（土）～11月26日（日）の72日間

※平成29年9月9日（土）にみ一つ大津・秋のオープニングプレイベントを実施

※平成29年11月26日（日）にみ一つ大津・秋のフィナーレイベントを実施

4. 実施内容

（1）情報発信

大津市中心市街地の魅力や中心市街地活性化の取組みをより多くの方々へ周知するため下記の情報発信を行った。

①ラッピング電車の運行

京阪石山坂本線において8月7日（月）～11月27日（月）にかけて1日平均12.5往復の運行による広報を行った。なお、8月7日に坂本駅において出発式を行う予定であったが、台風接近により中止となった。



②パンフレットの作成による広報

この秋、あなたは大津で出逢う、大津の「食べる」・「歩く」・「観る」に“み一つ”する旅をテーマに、パンフレット15,000部（A4版16ページ）を発行し、市内外に大津市中心市街地活性化事業の紹介や中心市街地で開催されるイベントを紹介した。

市内配布（宿泊施設10カ所、観光協会・案内所7カ所、大津市（支所含む）37カ所、

関係機関・施設 19 ヵ所)

市外配布 (草津まちづくり(株)、(株)まつせ、他関係機関 6 ヵ所)

京阪本線 PR ラック設置 (淀屋橋駅、天満橋駅、京橋駅、祇園四条駅)

大津公共空間活用協議会主催のイベント開催時に来場者に配布

大津まちあるき参加者に配布



③大津まちなかニューズレターの作成による広報

ニューズレター53,750 部 (D3 二つ折り) を発行し、新聞折込により市内の坂本から石山エリアに中心市街地の魅力や中心市街地で開催されるイベントを紹介した。



④みーつ大津・秋ホームページサイトの制作による広報

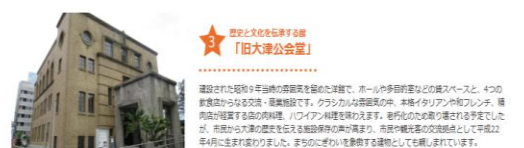
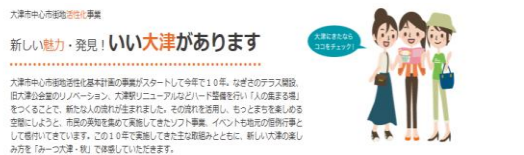
広域に情報発信をするため、8 月 30 日 (水) よりホームページサイトを開設し、大津市中心市街地活性化基本計画および大津市中心市街地活性化事業の紹介、中心市街地で開催されるイベント (歩、食、観) の紹介、大津百町まちあるきMAP の発信、おいしい大津 (商店街体験プログラム) の紹介を行った。

【アクセス状況】(8 月 30 日 ~ 11 月 26 日)

利用ユーザー数 2,209 件

ページビュー数 5,662 件

アクセス数 2,859 件 (内訳、検索サイト 1,997 件、直接 655 件、他サイト 156 件、Facebook 等 SNS 51 件)



(2) 連携事業

大津市中心市街地で実施される様々なイベントと連携し、下記の事業を実施した。

①オープニングイベントの開催

9月9日(土)に大津湖岸なぎさ公園おまつり広場&野外ステージにおいて、びわ湖大津秋の音楽祭オープニングイベントおよびなぎさカフェ&びわガーデン(大津公共空間活用協議会主催)に併せて、ステージイベント・セレモニーを行った。

来場者数:1,800人



②フィナーレイベントの開催

11月26日(日)に大津湖岸なぎさ公園おまつり広場&野外ステージにおいて、なぎさほっとカフェ(大津公共空間活用協議会主催)に併せて、ミュージックライブやセレモニーを行った。

来場者数:1,600人



③大津まちあるきの実施

中心市街地の魅力を発信するガイド付き12コースと番外編1コースのまちあるきを企画・実施した。

実施回数:11回(※2回は台風により中止)、参加者数:137名



若店主お薦め商店街まちあるきツアー



子連れ親子のための大津絵ツアー



大津祭ナイトツアーin 着物 de 大津百町

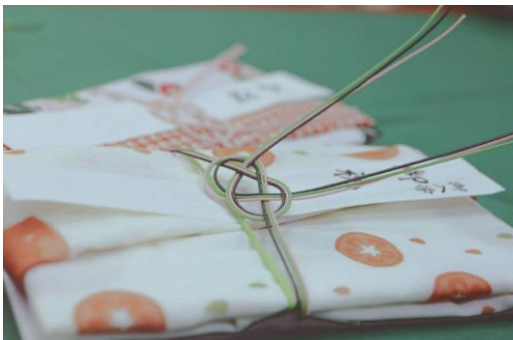


東海道は京・伏見から入ると大津百町は追分から始まった

④商店街体験プログラム（おいしい大津）の実施

ナカマチ商店街の4店舗協力による体験型観光6メニューを企画・実施した。

実施回数：6回、参加者数：11名



初級者向け 手拭いのし袋づくり



大津の地酒のみくらべ



箱寿司づくり体験



水なす漬け物と特選お茶漬け膳

⑤公募型野外ステージイベントの企画

メイン会場として、大津湖岸なぎさ公園おまつり広場に仮設野外ステージを設置し、関係機関・団体へ利用の呼びかけを行った。

説明会の開催（6月20日） 参加者 12団体

ステージ利用：3団体

(3) 大津百町まちあるき MAP (8 コース) の作成

過去3年間の大津まちあるきガイド付ツアーで好評だったコースをガイドなしでも楽しめるマップとしてまとめ、多くの方々に中心市街地を歩いて楽しんでいただくため、8コースのまちあるきマップ(各10,000部)を作成し、主要箇所に設置した。また、みーつ大津・秋ホームページサイトにおいてデータをダウンロードできるようにマップ(A4版2ページ)の汎用性を高めた。

設置場所(10ヵ所): びわ湖大津プリンスホテル、大津町家の宿粋世、びわ湖大津観光協会、大津駅観光案内所 OTSURY、大津市歴史博物館、まちづくり大津百町館、まちなか交流館「ゆうゆうかん」、旧大津公会堂、大津商工会議所、大津市都市再生課)

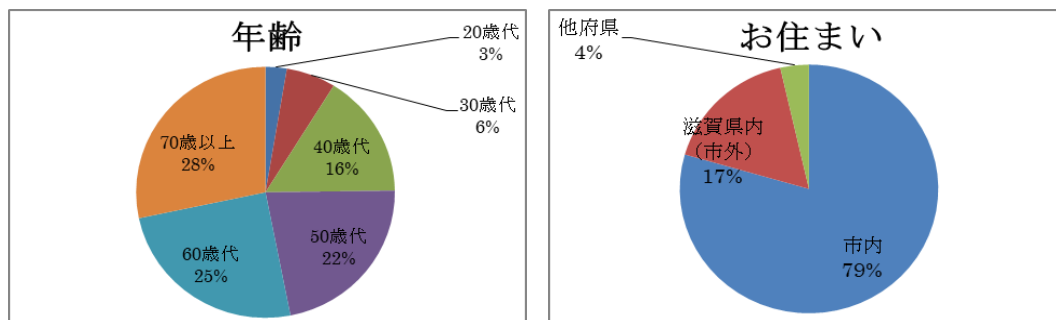
記者発表(9月20日)…10月24日中日新聞朝刊掲載

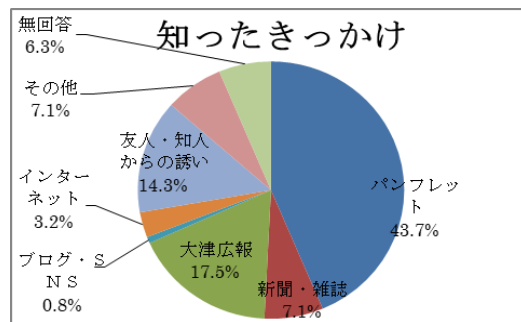
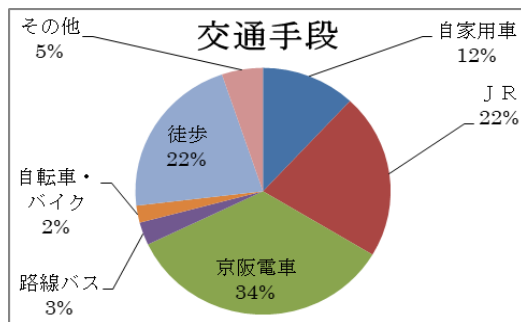


5. 効果・課題等

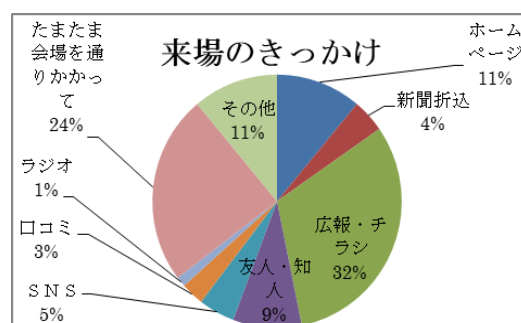
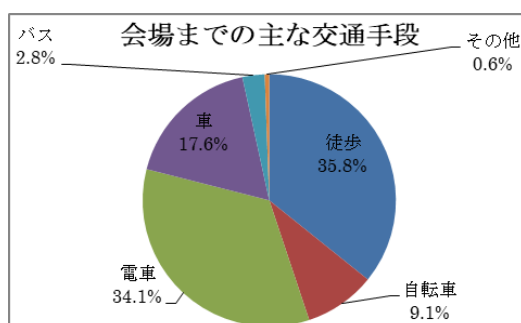
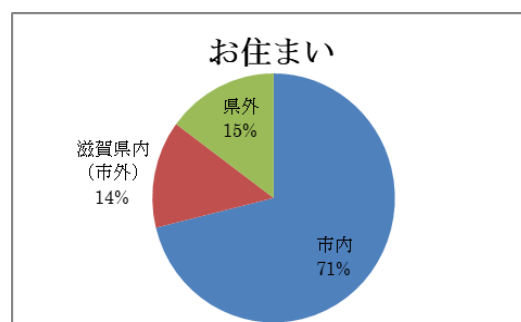
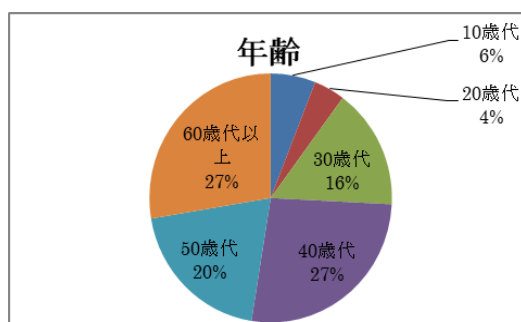
大津まちあるき、オープニングイベント、フィナーレイベント、大津公共空間活用協議会主催の中心市街地で行われたイベントにおいて、来場者にアンケートを実施し、以下の回答を得た。

大津まちあるきでは、6コースで定員を超える申し込みがあり、「来年も企画して欲しい」という声が多くあった。





中心市街地で行われたイベントでは、「大津の秋はイベントが目白押しでとても楽しみにしている」という声があった反面、たまたま会場を通りかかって来場した方が多く、「もっとPRをすべき」という声が多くあり、広報周知に課題が残った。



今回初の試みとして、京阪本線にパンフレットを設置し、京都市中心部での新聞折込を行い、京都や大阪からの集客を図った。その結果、鉄道を利用して大津を訪れる方がおられた。しかし、市外への広報周知は費用がかかることから、今後につなげるためにも費用を抑えた上で効果的な広報の方法を検討していく必要がある。